

平成28年(2016年)9月30日

各 位

みんながつくる「地域包括ケア」学習交流会実行委員会

実行委員長・鹿児島純心女子大学教授 八田 冷子

事務局：鹿児島県生活協同組合連合会

専務理事 野元 龍二

みんながつくる「地域包括ケア」学習交流会

—「介護予防・日常生活支援総合事業」充実のための地域交流会—のご案内

拝啓 時下、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、日頃からの地域住民への福祉、介護問題へのご尽力に関しまして敬服の至りに存じます。

さて、現在、少子・高齢化の進行の中での地域づくり街づくりが大きな課題となっております。このような大きな時代の転換点の中で、地域包括ケアの充実のために、県内の団体の皆さま方と実行委員会を作り、生活支援を中心とした地域づくりについて考え、結びつきを強めるために学習・交流企画を計画いたしました。

つきましては地域包括ケアの担い手として、貴重な実践を積み重ねられている皆さま方には是非ご参加いただきたくご案内、申し上げます。

ご多忙中、誠に恐縮ではありますが、よろしくお願いいたします。

敬具

みんながつくる「地域包括ケア」学習交流会 ～「私が住みたい街」のつくりかた～

日時 平成28年(2016年)11月18日(金)13時30分～16時30分

場所 鹿児島市レンブラントホテル(旧鹿児島東急ホテル)鹿児島市鴨池新町22-1

内容

1. 記念講演 「進む少子・高齢社会とこれからの支援

—地参・地笑の暮らしづくりに向けて—

美作大学社会福祉学科教授 小坂田 稔

2. わたしの住みたい街づくり(曾於市を例に行政、社協、事業者の取り組みや計画から学ぶ)

- 曾於市の総合事業について 曾於市地域包括支援センター 宮脇ゆかり
- みんなが楽しく福祉のまち 曾於市社会福祉協議会 山口 和美
- 街づくりへの思い 曾於市デイサービスセンターゆずり葉 今吉 和久

3. 座談会(講師の小坂田先生と報告者で、街づくりについて意見交換で深めます)

主催 みんながつくる「地域包括ケア」学習交流会実行委員会

- 実行委員長 鹿児島純心女子大学教授 八田冷子
社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会、曾於市地域包括支援センター、
特定非営利活動法人介護支援専門員協会鹿児島、鹿児島県生活協同組合連合会、
鹿児島医療生活協同組合、生活協同組合コープかごしま、グリーンコープかごしま生活協同組合、
奄美医療生活協同組合、社会福祉法人鹿児島虹の福祉会、社会福祉法人グリーンコープ

後援 鹿児島県、鹿児島市



「地域包括ケアに関わる皆さま方へ」



実行委員長・鹿児島純心女子大学教授
八田 冷子

介護保険制度は、これまで様々な課題を「走りながらみんなで考え」進んできましたが、2014年「地域包括ケアシステムの構築」に向け第4回目の改正に至りました。

各市町村においては、現在、介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)の構築に向け作業が進められています。しかしながら、特に生活支援の仕組みについては「必要ではあるが、どこからどう取り組むべきか」「すでにある生活支援の仕組みをどう活用していくのか」「行政だけではとてもやりきれない」など様々な声が聴かれています。

そのような状況から一步でも前に進んでいただきたいという思いから、今回、すでに生活支援サービス提供に長年取り組んでこられた生協の皆さまからの声かけにより**みんながつくる「地域包括ケア」学習交流会実行委員会**を発足いたしました。

介護予防や生活支援の仕組みは、これからの時代の荒波にも揺らがない「私が住みたい街づくり」につながると考えます。鹿児島らしいそれぞれの地域力を活かした取り組みについて一緒に考えましょう。

記念講演 講師プロフィール



美作大学社会福祉学科教授
小坂田 稔先生

地域福祉論をご専門に、津山市社会福祉協議会にて福祉活動専門員として地域福祉実践に取り組み、高知県立大学社会福祉学部教授を経て、平成25年4月から美作大学社会福祉学科教授、現在、社会福祉学科の学科長をされておられます。

また主たる社会活動として岡山県の美作市や総社市、美咲町の地域包括ケア会議会長などを歴任されています。

著書には『真の介護予防と地域包括支援センター』中央法規出版、『社会資源と地域福祉システム』明文書房、「地域包括ケアシステムの必要性とシステム構築に果たす市町村行政の役割とあり方—公共経営の視点からの理論化の試み—」(早稲田大学大隈賞)など地域包括ケアに関する多数の著作や論文があります。

今回の講演では、極めて実践的なご研究の中から、地域包括ケアシステム構築の方法など、「どんなに重い病気や障がい、生活問題を抱えていても、住み慣れた地域で、いきいきと暮らしていきたい!!!」「住み慣れた地域における普通の暮らしの幸せづくり」に向けた支援の在り方や地域づくりについて、豊富な事例の紹介を基に提言、提案を頂く予定です。